

事業の背景・目的

堀川の水生生物として、堀川ダム湖の上流域にミズスマシ（環境省絶滅危惧Ⅱ類）、ダム堤体直下流域にはモノアラガイ（環境省準絶滅危惧）が多産する。堀川ダム湖内にウチダザリガニが生息する以前は、チャイロシマチビゲンゴロウが多産していたが、ウチダザリガニの個体数が増加した現在ではダム湖内から本種は姿を消し、ダム堤体直下の流域にわずかに残存するのみである。ウチダザリガニの個体数密度を低減しないと、ダム湖内だけでなく、現在はまだ高密度ではない上下流域に分布が拡大することにより、これら希少種（ミズスマシやゲンゴロウ類、特に幼虫）は、生息環境の改変や捕食を通して絶滅してしまう可能性が高いと考えられ、本事業を実施しそれらの保全をしていきたい。

事業の内容

防除事業

- ・堀川ダム湖内でカニかごの中に誘引物を入れ捕獲
- ・捕獲場所、雌雄の数、重量等のデータを収集
- ・土嚢袋に詰め、焼却施設にて適正に処分
- ・収集したデータをもとにカニかご設置箇所再検討し効率的な防除作業を行う
- ・より多くの防除ができるよう業務委託を行う

得られた成果

今年度はウチダザリガニ**10,000**匹防除を目標として活動してきたが、**9,572**匹の実績となり僅かに目標到達とはならなかった。堀川水域に生息するウチダザリガニの個体数が不明なため成果の判断は難しいが、昨年の倍以上を防除した今年度でもダム堤体直下流域に生息するウチダザリガニの個体数密度は増加していた。

分布拡大を調査するためダム堤体直下流域から約**1km**、約**4km**下流の地点にカニかごを設置したが生息の確認はなかった。

さらなる個体数密度の増加や生息域の拡大を防ぐためにも継続的に活動していくことが必要であると考えます。

事業終了後は、職員及びボランティア団体の協力により可能な限り活動を継続していきたい。